

交通まちづくり研究室

1. はじめに

交通まちづくり研究室は、都市交通を対象に、社会潮流に対応した計画策定に必要な技術の開発と普及を行うことを目指しています。

われわれの主な活動としては、都市交通計画や調査のあり方の検討、将来目標像を共有する方法論の検討、予測・評価手法に関する検討等が挙げられます。

2. 主な研究活動

(1) 新たな都市交通計画、調査のあり方に関する調査研究

近年、高齢化の進展や、環境問題・健康問題への関心の高まり、東日本大震災を契機とした国土強靱化へのニーズなど、新たなトピックスが顕在化しています。これらのテーマに対応した、新たな交通計画や調査のあり方について、調査研究を行っています。

(2) 都市交通に関する将来目標像の共有に関する調査研究

都市交通に関する将来目標像の実現に向けては、市民との共有が不可欠です。このため、都市交通に関する計画の将来像を市民と共有し、実現に結びつけるための方法論として、将来の仮想的、実証的な交通状況の共有方策等に関する調査研究を行っています。

(3) 時代の変化に対応した予測・評価手法に関する調査研究

交通計画の基礎的な技術の一つである交通需要予測・評価手法の改善に、継続的に取り組んでいます。利用者均衡配分手法の研究や、大規模な都市開発に

伴う交通への影響を評価する手法、近年の交通実態調査への国民の協力度の低下に対する実態調査手法の改善の検討など、さまざまな側面から調査研究に取り組んでいます。

3. 研究テーマ

(1) 都市交通計画、調査のあり方の調査研究

- ・防災安全性、環境負荷、高齢化対応などの新たなトピックスに対応した都市計画立案に関する調査研究。
- ・諸外国における先進的な計画、調査の情報収集とわが国への適用性に関する調査研究。

(2) 将来目標像の共有に関する調査研究

- ・マイクロシミュレーションを活用した交通状況の共有方策に関する調査研究。
- ・社会実験を活用した交通状況の共有方策に関する調査研究。

(3) 予測・評価手法に関する調査研究

- ・利用者均衡配分手法を含む、交通需要予測手法に関する調査研究。
- ・大規模開発に関連する交通計画策定手法に関する調査研究。
- ・土地利用・都市圏構造の交通への影響の評価手法に関する調査研究。
- ・交通に起因する環境負荷の予測、環境負荷軽減対策の効果推計手法に関する調査研究。

(4) 知識技術の普及のための活動

- ・都市交通計画・調査に関する研修の企画・実施。
- ・都市交通計画・調査に関する研究成果の公表。
- ・都市交通計画に関するマニュアルなどの作成。